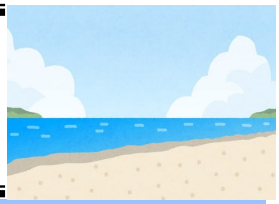
みたか環境ひろば 第64号

平成 30年８月７日号



「エコミュージカルとエコイベント」を開催しました！

★　エコミュージカルの様子　★

６月の環境月間の恒例となった「エコミュージカルとエコイベント」が、今年も６月24日（日）に三鷹市公会堂「光のホール」にて、みたか環境活動推進会議と三鷹市共催により開催されました。

エコミュージカル音楽会「ネバーランドはECOの島～花と緑のエコロジーランド～」と題して、市内の小学生43人もオーディションに合格し出演しました。

ネバーランドは美しい花々に蝶々が群れ遊ぶ、空気の綺麗な島だったのに、フック船長や子どもたちは、島が汚れていても綺麗にしませんでした。そこでピーターパンと三姉弟は、自然環境を大切にする心を伝え、美しいネバーランドを取り戻すというミュージカルでした。

開演前のロビーでは「エコ楽器ワークショップ」「おもちゃの病院」「食べきり運動に参加しよう！」「ゴーヤの苗のプレゼント」等のイベントが開かれました。「エコ楽器ワークショップ」では、観客の子どもたちが、ペットボトルをリサイクルしたマラカスに、自分たちで思い思いに色を付けたりテープを巻いてエコ楽器を作成していました。劇中の音楽会の場面では、客席にいた子どもたちも舞台に上がり、歌に合わせて手作りのマラカスを鳴らし、出演者と一体となり熱演しました。

★「エコ楽器ワークショップ」の様子★

また、そのほかにも「環境標語表彰式」が行われました。市長賞、環境基金活用委員会会長賞、優秀賞と、12名の方が受賞しました。中には、親子で受賞した方もいます。

合計で約600名の来場者に足を運んでいただき、とても賑やかな１日となりました。（明田）

電気と水を大切に

電力が自由化になり、多くの企業が参戦しました。どこの電力会社にしようか考えましたが、いまだに契約せずにそのままにしています。そんな中、２月の電気代が３万円を越えたときは、少々驚きました。その原因はほとんど暖房費だと思い、私が一人で家にいるときは、湯たんぽを利用したり、厚着をしたり、日中は日当たりのいい２階に移動して過ごすなど、なるべく暖房の使用を控えて省エネを心がけてみました。

夏の水不足も気になります。ついつい私たちは水を出したまま、食器洗いや洗顔、歯みがき等をしてしまいます。日常生活の中で、気を付けたいことはたくさんあります。特に花木の水やりは大変な水の量です。我が家ではバケツ10杯くらいが１日の必要量のため、雨が降るとほっと一安心です。雨水、風呂の残り湯は、夏の打ち水にどうでしょうか。暑い夏も、クーラーだけに頼らず、自然の風をとりこむ生活をしたいと思っています。日頃、育てている緑も、日光を遮るために役立ってくれます。みなさんも緑のカーテンを作ってみましょう。（山下）

★夏を涼しく　緑のカーテン★

世界のプラスチックごみ総量63億トン

2017年のある新聞紙上に、表記のタイトルで衝撃的な記事が掲載されていて、思わず切り取って保存しました。1995年以降に世界で製造されたプラスチック製品の総量は83億トンに達し、うち63億トンがごみとして捨てられたとする推計を、アメリカジョージア大学の研究チームが米科学誌に発表しました。63億トンのうち一度でもリサイクルされたものはわずか9%、12%が焼却処分、79%は埋めたて処分か自然界に放置されたままとのことです。63億トンと言われても私達には想像もつかない量です。新聞によるとその重さはスカイツリーの約17万個分になるとのことですが、それでも未だイメージが沸きません。

再利用されずに使い捨てられるポリ袋などの包装材やペットボトルなどの容器は、このままだと増加の一途をたどり、2050年にはプラごみは120億トンに倍増するとみられています。限りある大切な天然資源から作られるプラスチックは、何の努力もせずにそのまま放置すれば何百年、何千年も生き残っていく、と警告しているのです。

日本ではすでにエコバッグ持参、ごみの分別などの活動は地域の努力で少しずつ前進していると思います。三鷹市も新しいごみ処理場の稼働で、ごく一部のプラスチックは燃えるごみとして処分出来ることになりましたが、燃やせるプラスチックは「汚れたプラスチック」に限定されています。その内容については市が配布しているごみの収集日程表の裏面でもう一度確認いたしましょう。

最近、プラスチックによる動物たちの悲しいニュースも頻繁に目にします。餌と間違えてビニールを食べてしまい、胃にたまったビニールのために餌が取れず死に至る魚や鳥獣が増えているそうです。プラスチックの誕生で私達の生活は大変便利になりました。その恩恵に浴す一方で、大量の負の遺産を後世の人々や地球上のすべての生物に残していってはいけないと、つくづく考えさせられました。美しい国、美しい地球を守るのは一人ひとりのモラルと努力にかかっていることを再認識させられました。　（矢成）

環境掲示板

「メガネスタンド」

主催：三鷹市
日時：平成30年8月22日(水曜日)
　　午後1時～3時30分
場所：三鷹市リサイクル市民工房
対象：どなたでも
定員：12人(申込多数の場合は抽選)
料金：無料
申込：8月14日(火曜日)必着で、
　　往復はがきでごみ対策課ま
　　で申し込む
問合せ：ごみ対策課(内線2536)

「出目金ちゃん」

主催：三鷹市
日時：平成30年8月29日(水曜日)
　　午後1時～3時30分
場所：三鷹市リサイクル市民工房
対象：どなたでも
定員：12人(申込多数の場合は抽選)
料金：無料
申込：8月21日(火曜日)必着で、
　　往復はがきでごみ対策課ま
　　で申し込む
問合せ：ごみ対策課(内線2536)

編集後記

６月の環境月間のイベントとして、市公会堂光のホールにて、環境標語の表彰式が行われました。環境に対する想いの強さを感じる標語でした。表彰式後、ミュージカル音楽会「ネバーランドはエコの島～花と緑のエコロジーランド～」が上演され、元気な子どもたちとともに、地球を思う気持ちを考えさせられました。

６月23日は、73年前の沖縄戦慰霊の日です。そして、８月は終戦記念日と続きます。悲惨な戦争を経験された方々が少なくなった今、改めて過去があっての現在があることを考えます。（平澤）

次回の発行は平成30年10月の予定です。

発行：みたか環境活動推進会議
　　(愛称　みんなの環境)
連絡先：三鷹市生活環境部環境政策課
電話 0422-45-1151　内線2523・2524
E-mail:kankyo@city.mitaka.tokyo.jp
本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。